六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。（原則、毎月第３月曜日に掲載します）

六甲高山植物園

紅葉の下、手作り体験も

六甲高山植物園は10月中旬～11月下旬、紅葉が見頃。樹齢約100年のドウダンツツジの大木は燃えるような赤に染まり、シロモジやブナ、カラマツなど黄葉する樹種も。多彩な色彩を楽しめる＝**写真**。

ロックガーデンでは、チングルマなど高山植物の紅葉が見られるのも当園ならでは。11月29日まで「原種シクラメン展」と「森の手づくりリース・松ぼっくりツリーづくり体験！」を催すほか、園内で採れた木の実やヒメアジサイのドライフラワーなどを使い、オリジナルリースや松ぼっくりツリーづくりも楽しめる。

11月29日までの土日祝の17～20時、夜間開園「ひかりの森～夜の芸術散歩～」も催す（別途料金）ほか、同16日までの月曜、子どもの入園料が無料になる。

再度公園

工作や自然観察楽しもう

六甲山系をフィールドに活動する団体が集う「こうべ森の文化祭」が10月25日、再度公園で開催される。市民ボランティアやNPO、登山団体、企業、寺院、行政機関など30余りの団体が個性豊かなブースを出展、活動成果を披露する。

今年のテーマは「森で遊ぼう！森と遊ぼう！」。森の恵みを活用した工作や松ぼっくり釣り＝**写真**＝などのネーチャーゲーム、自然観察など、子どもも大人も楽しめるプログラムが満載。

10～15時。たくさんのブースを巡るクイズラリーも用意されている。駐車場は台数が限られており、なるべくハイキングや市バスでの来場を。詳細はホームページ https://www.city.kobe.lg.jp/a17526/bunkasai.html

環境省近畿環境局

六甲山愛あふれる写真を

環境省近畿環境局は、自然豊かな六甲山系を守ろうと、この先も残していきたい「みんなの六甲」をテーマに、フォトコンテストを開催する。心ひかれる景色や魅力を表現した作品＝**写真**＝を募っている。

国内屈指の内海多島海景観を有する瀬戸内海国立公園。その東部の六甲地域は東西約20キロに及ぶ山地で、1956（昭和31）年に国立公園に編入されてから70年、多くの人によって守られてきた。

フォトコンテストの詳細はhttps://setonaikai-nationalpark.jp

問い合わせは六甲地域国立公園フォトコンテスト2026事務局（神戸新聞事業社内）へメール（setonaikai-nationalpark@kobe-j.co.jp）で。

根岸真理が案内 山の四季便り

神戸・一王山十善寺境内 カミカ茶寮で新企画

山の茶屋 銘酒と手作り総菜で一献

日が暮れ、煌々（こうこう）と光るカミカ茶寮。静かな寺の境内にある＝いずれも神戸市灘区一王山町

カミカ茶寮　月曜午後、木曜定休。https://www.instagram.com/kamika_saryou/

個性的な茶屋は六甲山の特徴の一つ。それぞれの茶屋に名物メニューがあり、卓球や投輪（輪投げ）などを楽しめ、イベントが企画されることも。「六甲山の茶屋文化」と呼べるものが定着している。

カミカ茶寮のおつまみとお酒

そんな中、新たな楽しみを提供し始めたのが、神戸市灘区の一王山十善寺境内にあるカミカ茶寮。題して「カミカで一献」。女将（おかみ）が厳選した日本酒などのお酒と、それに合う手作りの総菜を味わえる。週末の金、土曜限定で、午後5～8時まで。

旬の食材を使うため、内容は日によって変わるが、兵庫県産の野菜を中心としたヘルシーなメニュー。数種のおつまみ盛り合わせとお酒で千円から。筆者が訪れた日は、ニンジンのラペと秋なすの煮物など、彩りも美しい一皿が出てきた。お酒との相性もよく、ついついお代わり…。

お酒は、地元灘の日本酒を中心に、各地から取り寄せた女将のお気に入りが登場することも。知らない銘柄もいろいろあったので、相談しながら料理に合わせて選ぶのも楽しかった。

カミカ茶寮があるのは、六甲山の南斜面の中腹。住宅街の端にあたり、山道を歩かなければ行けない場所ではないものの、森に囲まれたお寺の境内は夜になるととても神秘的な雰囲気。闇に包まれた山の夜の風情が気軽に味わえる。

ちなみに通常営業は午前6時半から。「カミカの朝ごはん」（800円）、ランチは予約制の「発酵御膳」や、予約不要の創作ワンプレートランチやスパイスカレーもある。

香ばしい最中の皮に黒豆入りの白あん、もっちりとした白玉をはさんだ名物「カミカ最中」もおいしい。

秋には、海を渡るチョウとして知られるアサギマダラが来ることでも知られ、運が良ければ優雅に舞う姿を見られるかも。今年はここで育ったアサギマダラが羽化したこともあり、女将のアサギマダラ愛あふれるお話を聴きながら一献傾けるのも善き。

神戸大学キャンパスのすぐ下で、市バス停留所「神大国際文化学研究科前」から徒歩約7分、「高羽」からなら10分程度。夜でも安心して立ち寄れる立地なので、山帰りや、仕事帰りに立ち寄ってみてはいかが。

カミカ茶寮の外観

金・土曜の夕刻限定 旬の野菜メニュー盛り合わせ

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

芸術学部

◆ヴァイオリンの旅人～ピエモンテ、ウィーン、六甲山へ～　24日11～13時、六甲山サイレンスリゾート（六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス（第２系統）「六甲山サイレンスリゾート前」）。バイオリニストのマウロ・イウラートさん＝**写真左**、ピアニストパブロ・エスカンデさん＝**同右**＝による空のダイニング「空の展望台」でのデュオコンサート。季節の移ろいを実際の風や光と重ね、シェフによるストゥッツィキーノ（イタリア前菜盛り合わせ）を楽しむ。定員60人。6800円。同施設ホームページで事前予約要。雨天決行。同施設☎078・891・0650

総合学部

◆世界の森のもみじ巡り「植物園のもみじ散策」　10月31日～12月６日平日９～17時（最終入園16時半）、土日祝９時～19時半（最終入園19時）、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。イロハモミジ、メタセコイアなど38種約3000本の紅葉する樹々の美しい風景を観賞できる＝**写真**。土日祝は紅葉のライトアップあり。無料（別途入園料大人300円、小・中学生150円、駐車料普通車700円、11月の土日祝は900円）。同園☎078・591・0253

環境学部

◆高取山の魅力再発見！in月見茶屋～チョウと遊ぼう・学ぼう・楽しもう～　11月１～15日（期間中、土日祝の６日間）、６時半～13時。高取山・月見茶屋（神戸市長田区）。旅するチョウ「アサギマダラのひみつ」パネルや高取山周辺に生息するチョウの標本展示＝**写真**＝など。11月３日10時、12時半から特別体験イベントもある。いずれも入場無料。天候や山の状況により中止の可能性あり。自然体験活動支援「シニア種まき隊」の橋本さん☎090・5054・0906

健康学部

◆色づき始めた森の中を歩く　11月８日９時半、神鉄有馬温泉駅集合。妙見寺に向かう（解散14時半ごろ）。有馬三山の一つである落葉山を歩き、秋色に染まる木の葉を見上げ、足元の落ち葉を踏む音を楽しむ。イチョウ、カエデの仲間、アマヅルの黄葉や紅葉、ヤブムラサキ、ミヤマシキミなどの色とりどりの実で秋の深まりも感じられる。弁当、飲料水、雨具、帽子、観察用具など持参。ハイキングに適した服装で。300円。予約不要。雨天中止（前日夕方以降に「六甲山自然案内人の会」ＨＰを確認）。

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
六甲山観光株式会社
KOBE Mt.Rokko ART & TOURISM Co., Ltd.
（順不同）
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp